

お誕生日おめでとうございます

8月12日 さん



88歳のお誕生日

ご本人は当日お誕生会があることを聞き驚かれ、プレゼントを見てまた驚かれ「どうもありがとう！こんなに沢山どうしようお～教えてください！」と、嬉しそうに微笑んでいました。またニコニコされている小柄な姿を見ていた他の入居者様からは「やっぱりキミ子さんは若く見えるね～」と言われておりました。

8月18日 さん



74歳のお誕生日

毎年自分の誕生日を楽しみにされている紀子さんは、今年も何日前からソワソワされていました。当日は「皆さんどうも有り難うございます。」と丁寧にお礼を言われ、ズボンと靴下のプレゼントに「これはいいわ～うれしい～！」と喜ばれ、「すてきだね～おめでとう！」と皆さんから言われて「見ていいよ！」と何度も披露してくれました。

8月24日 さん



96歳のお誕生日

祝福ムードの中パーステーションを歌い、「おめでとう！！」の言葉がシャワーのように皆さんから注がれ、カクさんは感動して涙ぐんでおられました。「こうやって皆で集まるのもいいものだね～」と言われ、ニコニコしながらケーキをととてもおいしそうに食べていました。

8月30日 さん



94歳のお誕生日

誕生会が始まり、皆さんから「オメテー！」とお祝いの言葉と拍手をもらって、「え…ワチャカイ？」と少しビックリされていました。色紙やプレゼントを渡され誕生日を実感され幸せそうな表情をしながら会を楽しまれていました。また、息子さんから届いたお花に「澄雄から!!」と言われ、何より喜んでおられました。

七夕飾り (8月7日)

皆さんが、それぞれ考え書いた願いの短冊を柳の木に結ぶと、世界に一つだけの心のこもった樹になります。今年もたくさんの短冊が飾られ素敵な願いの樹ができあがりました。夕方になると子供たちが「ロウソク出せ出せよー、出さないとカチャクサー…」と玄關に来てうたを歌い、入居者様を和ませてくれました。「長生き」「健康」と願いの短冊を書いた方がたくさんいましたが、子供達からパワーをもらい、皆さんの笑顔を見ていると、願いは間違いなく叶うと感じさせてくれるひと時でした。



鷹栖神社祭 (8月20日)

町内にあります『鷹栖神社』は、明治28年に始まり昭和17年に本道農村で初めて『県社』に指定となった由緒のある神社であるとの事です。この時期お祭りがあり、入居者様とお参りしたり、境内にある露店に足を運んでわた飴などを買って、お祭りの雰囲気を楽しみながら、ゆっくりと時間を過ごしてまいりました。



鷹の巣フェスティバル (8月24日)



この地区のもっとも大きい夏祭りに今年も参加させていただきました。野球場程広い公園内に、各町内会などの味のいい露店がずらりと円をかくように出店し、大きなステージでは、吹奏楽・よさこい・たいこ・舞踊等々観覧することができます。毎年私たちは、昼のグループと夜のグループに分かれて、抽選会や盆踊りを楽しませていただいています。お昼はテントの下で可愛い子供たちのダンスを観ながら、焼きそば、たこ焼き、うどん、いももち、コロック、あげいも、焼き鳥などお腹いっぱい食べました。「いや～あこれ美味しいよ、あんたも食べな～」「いや～もう食べ放題だわ～！」と皆さん満腹の様子でした。夕方になりスタッフも入居者と一緒に浴衣と甚平に着替え盆踊りにくり出しました。例年沢山の景品を抱えて帰ってきますので、今年も張り切って出かけたのでした。祭り囃子に誘われて町内の方々がたくさん集まってきました。踊りが大好きな入居者さんと共に仮装したスタッフも輪にまじり一生懸命踊りました。結果、団体の部で2等賞を獲得！、スタッフも2つの賞を頂きまして、大変喜んで美味しいビールを飲んで帰ってきました。「来年は優勝を！」と、鼻息を荒くしております。

花火大会 (8月15日)



毎年七夕の夜に花火大会をしていましたが、あいにくの雨でやむなく延期となり、8月15日星空の下で、日ごろより練習されていました花笠音頭を皆さんで踊り、日暮れから吹上花火や手持ち花火を行いました。この日早めに夕食を済ませ、屋外で皆さんと花笠をもっていると、皆さんとてもいい笑顔を見せています。「私は花笠を踊るのが好きなんだよ」「花火より花笠の方が楽しいよ！」などの声と共に、笠を持つ手を左右に動かしながらニコニコと踊っている方や「よいしょ～まかしよ～！」と声を響かせながら楽しそうにしている方もいました。そしていざ本番、曲が流れるとまた楽しく踊り、踊りたり足りなくさらにもう一回曲を流して踊っていました。いつもは花の夏祭りでご家族様や会場の方々といっしょに踊っていた花笠音頭ですが、雨で踊れなかったこともあり、その分気合が入っていたように感じました。また皆さんの笑顔もたくさん見ることができました。日も暮れ始め、今度は吹上花火が始まると、皆さん目を輝かせ「明るいね～」「いやあ～きれいだわ～」「うわ～！！あんな高い所まで！」「いろいろな色に光ってきれいだね！」と多くの入居者の方々の声が聞かれ、勇

8月の野外活動

今月も屋外でのおやつや食事、畑仕事や散歩を楽しみながら過ごしています。スイカやトウキビなど美味しく食べ、いっぱいになった桃はあつという間に食べつくしました。流しソーメンも大好評でした。

施設長コラム

先日、旭川藤女子高等学校の一年生の生徒さんに『認知症サポーター養成講座』の講座をしてまいりました。この講座は、認知症がどのような病気であるかを正しく伝え、認知症の方が地域の中で暮ら

していくためにどのように接していけばよいかを分かりやすく伝え、それに合わせて地域づくりを皆さんで考えていくものです。生徒さんや先生も真剣に耳を傾けて頂きましたので、認知症について考えるきっかけになればとても嬉しい事です。何か特別なことをするのはなく、それぞれの方が出来る事を出来る範囲で少しの勇気をもって無理せず取り組むことはとても大事なことです。花を開設してから花の町内会や地域の方々に向けて認知症の講座をおこなったり、学生の皆さんに向けての講義を毎年繰り返しています。少しでも認知症の方が住みやすい世の中になれば幸いです。また、平成21年9月1日から始まった同校の高校生が花にきてくれる交流会はこの秋も行います。たくさん

